

命令文の定着ドリル(場面で選ぶ→対話完成→まちがい診療所→自分の番+解答)

Class _____ No. _____ Name _____

■ 命令文のきほん 相手に「～して」と伝える文は、主語を置かず動詞の原形から始める。

Stand up./ Be quiet. (be動詞の文は Be から) / Don't run. (禁止) / Let's sing. (いっしょに) ていねいに言うなら please を前か後ろに。

🎯 ゴール: 場面に合う命令文の種類(する/禁止/いっしょに)を選ぶ → まちがいを直せる → 教室ルールを英語で3つ作れる

1 ウォームアップ 日本語に合う出だしを線でなく記号で選ぼう。

ア Stand ～ イ Be ～ ウ Don't ～ エ Let's ～ オ Please ～	①立って→() ②静かにして→() ③走らないで→() ④いっしょに歌おう→() ⑤(ていねいに)手伝って→()
---	--

2 場面で選ぶ 正しいほうを○でかこもう。※命令文ではない文が合う場面もある！

(1) 授業の始まり、先生の一言	(Open / You open) your textbooks to page 40.
(2) ろうかを走る下級生に	(Don't / Not) run in the hallway!
(3) 遠足の朝、班のみんなに	(Let's / Let) take a picture here!
(4) 初対面の人が緊張している	(Be not / Don't be) nervous. I'm Ken. Nice to meet you.
(5) 友だちのすごい特技を紹介(命令ではない！)	(Ken plays / Play) the piano very well.
(6) 具合の悪い友だちに、やさしく	(Go / Goes) to the nurse's office, please.

✓ (5)は「紹介」で命令する場面ではない——ふつうの文(主語つき)が正解。命令文は「相手を動かしたいとき」だけ。

3 対話を完成 調理実習でカレー作り。()に1語ずつ書いて指示をつなげよう。

A: OK, team! (①) the vegetables first. (切って)
 B: Got it! (②) careful with the knife! (気をつけて)
 A: Next, (③) the water... wait! (④) put too much! (入れすぎないで)
 B: Oops. (⑤) ask Mr. Sato. (いっしょに聞こう)
 A: Good idea. (⑥), Mr. Sato! We need help! (すみません＝丁寧の1語)

✓ ②はbe動詞の命令文(Beで始める)。④は禁止。⑥は先生を呼ぶていねいな1語。

4 まちがい診療所 正しい文には○、まちがいがあれば直して書こう。

(1) Wash your hands before lunch.	
(2) You stand up, please.	
(3) Doesn't open the window.	
(4) Let's plays soccer after school!	
【考える1問】(2)はなぜまちがい？ 日本語で一言:	

✓ (3)禁止の形は？ (4) Let's のあとの動詞の形は？

5 語順ビルド 日本語に合うように、語を並べかえて書こう。(文頭は大文字に)

(1) この部屋では日本語を話さないで。 [Japanese / don't / in this room / speak / .]	
(2) 放課後、図書室でいっしょに勉強しよう。 [study / let's / in the library / after school / .]	

6 自分の番「教室のルールポスター」を作ろう。すること2つ+しないこと1つ！

(1) すること①(動詞の原形から)	
(2) すること②(Be ~. の文に挑戦)	
(3) しないこと(Don't ~.)	

✓ 書けたらチェック: 主語(You)が入っていない? Don't のあとは原形? 完成したら教室にはってもらおう!

☆豆ポイント! 命令文は「主語を言わない」だけで、相手(You)に向かって言う文。だからキツく聞こえることもある—— **please** を足す／**Let's** に変えるだけで、同じ内容がやさしい英語になる。Stand up. → Please stand up. → Let's stand up!

命令文の定着ドリル(場面で選ぶ→対話完成→まちがい診療所→自分の番+解答)【解答・かんたん解説】

丸つけをしたら、まちがえた問題に✓をつけよう

1 ウォームアップ

① ア ② イ ③ ウ ④ エ ⑤ オ

「静かにして」「親切にして」など様子の命令は Be から(be動詞の命令文)。

2 場面で選ぶ

(1) Open (2) Don't (3) Let's (4) Don't be (5) Ken plays (6) Go

(4)be動詞の禁止は Don't be ~。(5)は紹介の場面=命令文ではなく、ふつうの文が正解。

3 対話を完成

① Cut ② Be ③ add / pour(水を入れる動詞なら可) ④ Don't ⑤ Let's ⑥ Excuse me(Please も可)

③は「水を入れて」の動詞(add / pour / put in)なら正解。指示の英語は動詞から始まる——調理実習は命令文の宝庫。

4 まちがい診療所

(1) ○(直すところなし) (2) Stand up, please.(Youを取る)

(3) Don't open the window.(禁止はDon't) (4) Let's play soccer after school!(Let'sのあとは原形)

【考える1問】の例:「命令文は相手(You)に言うと言っているから、主語を言わずに動詞から始める」など、自分の言葉でOK。

5・6 語順ビルド／自分の番(例)

5(1) Don't speak Japanese in this room. (2) Let's study in the library after school.

6の例: (1) Listen to your friends. (2) Be kind to everyone. (3) Don't use your phone in class.

6は内容自由。動詞の原形から始まり、(3)が Don't+原形なら正解。

■ まちがいが多かった人へ(学び直しコース)

①「1」を声に出して確認(Stand up. / Be quiet. / Don't run. / Let's sing.のリズム)→ ②「4」の(2)を説明してみる → ③「6」の3文を先生かペアに向かって実際に言う(通じたら合格)→ ④ 先生にチェックをもらう